



労働政策研究報告書 No. 140

2012

JILPT : The Japan Institute for Labour Policy and Training

---

---

## シングルマザーの就業と経済的自立

労働政策研究・研修機構

# シングルマザーの就業と経済的自立

独立行政法人労働政策研究・研修機構

The Japan Institute for Labour Policy and Training

## ま え が き

本報告書は、アンケート調査の二次分析を中心に、母子世帯の経済的自立状況とその必要条件について総合的に検討したものである。

非正規就業者を中心に、働いても貧困が解消されない、慢性的貧困に陥りやすいなど、母子世帯の経済的自立には多くの壁がたちはだかっている。経済的自立を果たせた者と果たせなかった者との差がどこにあるのか。より多くの母子世帯を非自立グループから自立グループへと移行させるためには、母親がどのような職業選択を行い、どのような教育投資を行えば良いのか。また、母子世帯の経済的自立を促すためには、どのような支援が望ましいのか。本報告書は、これらの疑問の解明に挑もうとしている。

そして、シングルマザーの就業に欠かせない視点は、仕事と育児と余暇時間の融和、いわゆる「ワーク・ライフ・バランス」である。就業所得の向上による経済的自立も、一定の限界がある。本人の能力問題はさておき、シングルマザーは有配偶女性に比べ、育児時間、家事時間と睡眠時間が相対的に少なく、勤労時間が長くなっている。シングルマザーに必要なのは、「企業戦士型経済的自立」ではなく、「ワーク・ライフ・バランス型経済的自立」ではなかろうか。

本報告書が、母子世帯の経済的自立の向上や今後の労働行政施策の立案等に資することを期待する。

2012年1月

独立行政法人 労働政策研究・研修機構  
理事長 山口 浩一郎

執筆担当者（執筆順）

氏名	所属	執筆章
<small>しゅう えんび</small> 周 燕飛	JILPT 副主任研究員	他の担当を 除く全編
マッケンジー・コリン	慶応義塾大学経済学部教授	第3章
<small>ま きんきん</small> 馬 欣欣	JILPT アシスタントフェロー	第3章、 第8章
<small>おおいし あきこ</small> 大石 亜希子	千葉大学法経学部教授	第5章
<small>あべ あや</small> 阿部 彩	国立社会保障・人口問題研究所部長	第11章

「シングルマザーの仕事と生活」研究会メンバー（除く執筆者）

梅澤 真一 JILPT 統括研究員  
James Raymo ウィスコンシン大学マディソン校社会学部教授

# 目 次

まえがき

## 序 論

第 1 章 「働いているのに貧困」から「経済的自立」へ	
第 1 節 有業母子世帯の貧困率は、OECD30 カ国中最高	1
第 2 節 生活保護に頼ることの危険性	2
第 3 節 経済的自立に必要なもの	2
第 4 節 就業の視点による検討	4
第 5 節 何を持って経済的自立と判断するか	5
第 6 節 本報告書の構成	6
第 7 節 知見の集約：経済的自立に向けて	14
Q&A①—母子世帯の定義がなぜバラバラなの？	16

第 2 章 経済的自立をめぐる現状とのその規定要因	
第 1 節 シングルマザーの就業と経済状況	17
第 2 節 生活保護や児童扶養手当への依存度	19
第 3 節 実証分析：経済的に自立している母子世帯の特性	22
第 4 節 おわりに—仕事と育児と余暇のバランスを図る	26
Q&A②—日本全国で母子世帯はどれくらいいるの？	29

第 3 章 母子世帯の貧困—就業形態の影響について	
第 1 節 はじめに	30
第 2 節 データから観察されたシングルマザーの就業形態と貧困 の関係	32
第 3 節 先行研究のサーベイ	40
第 4 節 計量分析の方法	42
第 5 節 計量分析の結果	47
第 6 節 結論と政策的示唆	57

## 第 1 部 シングルマザーの就業戦略

第 4 章 正社員就業がなぜ希望されないのか	
第 1 節 はじめに	61
第 2 節 正社員就業が希望されない理由—3 つの仮説	63
第 3 節 本研究の意義とオリジナリティ	64
第 4 節 データと記述統計	66
第 5 節 母親の正社員就業希望を低める要因	67
第 6 節 シングルマザーと有配偶女性との違い	70
第 7 節 生活保護と正社員就業意欲	72

第 8 節	正社員就業の希望を果たすための条件とは ……	72
第 9 節	結びにかえて—これから求められる就業支援 ……	74
Q&A③	—諸外国に比べ、日本の母子世帯は多い方なの？ ……	78
第 5 章	母子世帯になる前の就労状況が現在の貧困 とセーフティネットからの脱落に及ぼす影響について	
第 1 節	はじめに ……	79
第 2 節	分析モデル ……	80
第 3 節	シングルマザーの就業移動の実情 ……	87
第 4 節	推定結果 ……	89
第 5 節	まとめと考察 ……	96
第 6 章	就業と自立に向けての奮闘：事例報告	
第 1 節	事例報告の意義 ……	99
第 2 節	自立への道は、十人十色 ……	99
第 3 節	児童扶養手当と養育費 ……	103
第 4 節	結びにかけて—どこまで自立を求めるか ……	104
Q&A④	—母子世帯になった理由は何なの？ ……	105
第 2 部	就業支援	
第 7 章	国と自治体による就業支援	
第 1 節	就業支援の 3 大ツール ……	107
第 2 節	それぞれの就業支援ツールをどう評価すべきか ……	108
第 3 節	在宅就業支援をめぐる新たな動き ……	113
第 4 節	おわりに—支援情報の周知徹底 ……	114
Q&A⑤	—離婚は本当に増えているの？ ……	117
第 8 章	職業能力開発支援政策とシングルマザーの就業行動 —専門資格取得の影響について—	
第 1 節	はじめに ……	118
第 2 節	データから観察されたシングルマザーの就業状況 ……	119
第 3 節	先行研究のサーベイと仮説の設定 ……	125
第 4 節	計量分析の方法 ……	128
第 5 節	計量分析の結果 ……	134
第 6 節	結論と政策的示唆 ……	144
第 9 章	公的就业支援はどこまで有効か	
第 1 節	本章のねらい ……	149
第 2 節	公的就业支援の認知度と利用状況 ……	149
第 3 節	どのような母親が支援制度をよく知り、よく利用して いるのか ……	150

第4節	事業の利用は、母親の「仕事力」を高めているか…	153
第5節	おわりに ……………	156
Q&A⑥	—なぜ父子世帯はあまり増えないの？ ……………	159

### 第3部 養育費と時間格差

#### 第10章 養育費の徴収に秘策があるのか

第1節	養育費のどこか問題なのか ……………	161
第2節	なぜ養育費の受取率が低いのか ……………	163
第3節	養育費の徴収に秘策があるのか ……………	164
第4節	養育費不払いから母子世帯を守る最終手段 ……………	166
第5節	実証分析：離別父親の支払い能力と養育費の関係…	168
第6節	終わりに—父親の扶養責任をどこまで追及して 良いのか ……………	174
Q&A⑦	—シングルマザーの平均像はどのようなもの？ ……………	177

#### 第11章 時間の貧困：ジェンダーと社会経済階級と時間格差

第1節	問題意識 ……………	178
第2節	先行研究 ……………	179
第3節	データ ……………	180
第4節	自由時間のジェンダー格差 ……………	182
第5節	自由時間と社会階層（SES） ……………	187
第6節	考察 ……………	195